



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2012～2013 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「質素な運営 豊かな奉仕」

◆会長 足立 常孝 ◆幹事 田中 雅昭 ◆会報委員長 坂家 賢司 ◆会報担当 松之木 映一

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 943 回	51 名	51 名	44 名	—	86.27%
前々回 941 回	51 名	51 名	29 名	9 名	78.43%

<点 鐘>
<ロータリーソング>
<四つのテスト>

会長 足立 常孝
奉仕の理想

運転している我々が、充分に気をつけましょう。ドイツ人は、安心。ギリシャ人は、注意しよう。とか考えて、余裕ある運転に心掛けましょう。

<会長の時間>

会長 足立 常孝

「こんにちは」本日は、「国民性をもっとよく表れる場所は、交差点」という話をさせていただきます。我々の郷土にも、近年は、沢山の海外観光客が街角で、信号待ちをされている光景をよく目にします。

沢山の外人を見て高山も国際観光都市なのだなと思います。

我々日本人は、歩行中に、交差点で信号待ちしていて、車がまったく通らなかつたら、横断歩道を渡ることもあります。ちょっと後ろめ



たい。皆で渡れば怖くない。日本人の多くはそんな感覚でしょう。

ヨーロッパの国々では、国によって様々だそうです。ドイツ人は、雨が降りしきる夜、車一台も来ない道で、厳しい表情で信号を待ち続けるそうです。

うっかり信号を無視して渡り、赤の他人に叱られる事もあり、自分に厳しく他人にも厳しい。ルールを重んじる気風は、日本人以上の事。

隣のフランスでは、ラテン系で様子かなり違うそうです。パリ市民は、信号が赤でも青でもお構いなしに、自分の目で見て判断して道を渡る。

「機械の指示など受けたくない」という国民性だとか。

ギリシャは、人も車も、もっと気ままで、交通事故の死者数が先進国の中で、一番多いそうです。

不揃いな文化も欧州の魅力。ドイツ流の改革に理があると思いつつ、抵抗するラテン気質を心の中で、ちょっぴり応援したくなる。通貨統一から自由経済を進めるユーロ諸国で、生活習慣が異なることは、あらゆる面で、大変だと想像します。

高山に来て頂いた外国人観光客も、世界中の各国からみえます。交差点で待っている観光客が全員、日本の道路交通法を守るとは限りません。

<幹事報告>

幹事 田中 雅昭

◎国際ロータリー第2630地区ガバナー事務所より

・バギオだより

<東日観光(株)より>

・国際ロータリー年次大会参加旅行のご案内

<地区大会報告>

山本 辰男 会員

今年度の大会はCLPと増強と財団のオンパレードで日本のロータリー離れの深刻さを如実に窺わせるものでした。

なかなかの知恵者が考えたのか、吸い上げた財団の金をまた地元に戻しそれを有効に使い名前の認知と名声をもう一度広げる作戦上手くいくか楽しみです。

ロータリー会員がかなりの危機感を持って立ち向かわなければならないという意識を深く持った大会でした。また、はやぶさのプロジェクトマネージャーの川口氏の話は非常に流暢で科学者というよりは経営者の感覚の話でした。心に残ったのは研究とプロジェクトの違いで研究は、とことん突き詰めて100まで行くものだし、プロジェクトに携わる科学者は80でも90でも今の最高を積み重ねて仕上げていくという事でした。経営者が持つ気持ちと似ていると思いました。



< IDM 報告 >

大原 誠 会員

10月17日、高山市朝日町「ステーキハウス ワンポンド」にて開催されました、『IDM』に参加させていただきました。富士井情報委員長の開会挨拶のあと、歴代の3名の会長から、ご講義がありました。

伊藤様から、国際ロータリー・高山中央 RC の歴史とロータリー三大義務について、島様からは、クラブ奉仕をはじめとした各種奉仕とその活動について、そして最後に、釧田様より、国際ロータリー第 2630 地区と当高山中央 RC の現状と

未来について、それぞれお話をいただきました。

ロータリー用語便覧によりまずと

『IDM

Informal Discussion Meeting』は「家庭集会」となっており、今回の IDM は、新入会員が対象であったものの、IDM 終了後の懇親会を含め、RC に関する知識と理解を深めるため、和やかに自由討論する会合、形式張らないで自由に話し合おう、そして人間関係をより高め合おうと言う会合であったと思います。

講義は、「ロータリークラブ」の定義・理念、5つの奉仕活動、ロータリアンとしての義務など、RCの一員として、理解し、実践していなければならない事柄について、各歴代会長の視点から詳細にお話を伺うことができました。特に釧田様から、「地区大会・世界大会への参加がロータリアンとしての誇りであり感動を覚える」とのお話がありましたが、先日の第 2630 地区大会に参加し、正に実感することができました。

ご承知の通り、RC は自分が入会したいからと言って入れるものではなく、紹介者、選考手続き、更に会員の同意を得て入会に至るわけであり、高山中央 RC 会員という誇りを持って、会員皆さまとの親睦を深め、自己啓発を進めながら、自分の職業を生かして奉仕していかなければならないと、今回の IDM に参加して、改めて強く自覚した次第です。

前越 路子 会員

10月17日にIDMに参加し、歴代会長三名の方々から、ロータリーの歴史、奉仕について、国際ロータリーとは等様な事柄を御教授いただきました。

その中で、毎月いただく雑誌ロータリーの友の読み方を教えていただきました。活字を読むことが好きなので、毎月気に入った記事は読んでいたのですが、ポイントがあることを教えていただき、来月からは気をつけて読んでいこうと思います。

国際ロータリーは、人が会員ではなくクラブが会員で、しかもクラブの上部組織としてあるのではないことに、びっくりしました。なんと民主的な組織なのだと思います。

奉仕については、Service の英約であるが、本来の意味からすると「仁」になるのではないかというお話を聞き、

奉仕とはと言う話を聞いてだけで、ああそうかと解るようなものではないとも教えられました。奉仕とはなんだろうかを考えながら日々行動する、それがロータリアンのゆく道なのではないかと思った次第です。

そのあとの懇親会も、大変楽しかったです。何時もなかなかお話を聞けない大先輩方と語り合う機会をつくっていただき、とても嬉しかったです。

また、いただいた資料の中の下の方に小さく「ロータリアンの幸福」というのがあり、楽しく読ませていただきました。この資料は大事に取っておきます。



内田 茂 会員

10月17日はほぼ全員出席の中、3人の会長経験者の有意義な講義が行われた。情報委員長の富士井さんの挨拶に始まり、足立会長挨拶続いて、ロータリーの歴史、ロータリーの奉仕、RI2630地区高山中央 RC の現状と未来についての各題目による講義を受けた。

先ず rotary とは、自分を磨き、人を育て、時には慈善行為、ボランティア活動を行う世界的な団体。という定義でした。

例会に出席し、ロータリーの友を読むことが大切である。とも言われました。

歴史としては、1905年を嚆矢とし、高山中央ロータリーは平成3年にうまれた。日本のロータリーは大正9年、事務総長ペリーの尽力のもと、米山、福島諸氏の努力によって東京にうまれた。など興味深い歴史等拝聴した。

その他、岐阜は 2630 地区に属し、
1905年 シカゴロータリークラブ創立
1910年 全米クラブ連合を設立

1950年 He profits most who serve best. 公式標語
Serve above self.

1985年 ポリオ・プログラム開始 などが記憶に残った。

奉仕の点に関しては service という言葉に尽きる。サーブを打つ、のサーブであるがそれがあらゆる場所に向かいクラブ、社会、職業、国際等、に対してである。クラブ奉仕は、クラブ会合に出席、親睦に加わる、プログラムに参加する、委員になったり、他の RC で講演したりする。

職業奉仕は道徳的水準を高め、品位ある業務が尊重され、自分自身を高める。

社会奉仕は、所在区域の生活の質を高める。

国際奉仕は活動やプロジェクト等を通じて、国際理解、親



善、平和をもたらす。

新世代奉仕は、世界平和と異文化の理解を深めるプログラムを通じて、青少年の好ましい変化をつくる。など目を開かれるおもしろい。

世界大会、地区大会、については、種々のコーディネーター、ガバナーのもと開催に伴う、登録料、財源、種々の交流など、大きく広がる世界を教えられました。

参加したロータリアンに感動と勇気をもたらすものであり、財団とともに重要だ。

義務履行でなく、人生哲学として考えて行きたいとも在りました。

今年は世界大会がタイにおいて開催された。とあります。その後で、会食となりました。各自の四方山話に、花が咲きました。

話は変わりますが、最近読んだ読み物の中で、ユニクロ柳井正氏の本が心に残りましたので、紹介します。

ゴールドラッシュのアジアに取り残され、稼ぐのを忘れて国を閉ざす日本人という見出しのもので、吉田松陰の『かくすれば、かくなるものと知りながら、やむにやまれぬ』大和魂を挙げ、21世紀の成長センターのアジアの中で、取り残されないよう日本も努力しなくては、という趣旨のもので、一読をお願いします。

今をときめく柳井氏の素直な感想が述べられています。

ニューヨークに大型店を出された元気は、すごいと思いました。

PHP 出版『現実を視よ』

最後に、大変な資料の作成に尽力された先輩諸氏に感謝の意を表したいと思います。

< 11月のお祝い >

< 会員誕生日 >

仲谷 政美	S 19年11月 1日
高原 清人	S 32年11月 2日
橋本 修	S 23年11月12日
山本 辰男	S 27年11月21日
黒地 重雄	S 27年11月25日
清水 幸平	S 26年11月26日

< 夫人誕生日 >

都竹 太志	あやこ	11月 4日
平林 英一	紀子	11月 6日
村瀬 祐治	ひとみ	11月 8日
高原 武夫	優子	11月24日
松之木映一	洋子	11月26日
岡崎 壮男	さとみ	11月29日

< 結婚記念日 >

高原 清人	S 56年11月 2日
足立 常孝	S 53年11月 8日
岡崎 壮男	H 4年11月 8日
村瀬 祐治	S 59年11月10日
山本 辰男	S 53年11月14日
永田 富次	S 41年11月17日
和田 良博	S 54年11月17日
大原 誠	S 58年11月20日
周 信夫	H 5年11月23日

おめでとうございます



お誕生日を祝して

ロータリーバンド

高山山ゆり学園『健康と長寿を祝う会』ゲスト出演



< ニコニコBOX >

11月に入って気温が低くなりました。本日は、先日行われたIDM参加者の発表です。沢山の出席者で有意義な勉強会が行われました。発表される新会員の皆様宜しくお願いします。
足立 常孝

3日にセブンスターが「高山山ゆり学園」にて社会奉仕をしてきました。“健康と長寿を祝う会”のイベントにゲストとして参加し、利用者の方々に（高校3年生など）4曲を歌ってもらい充実した時間を過ごしました。最後に、セブンスター始まって以来、花束を頂き感激しました。バンドの皆様、ご協力ありがとうございました。
橋本 修

3年ぶり、33回目の優勝を祝して！！リーグ・クライマックス、日本シリーズ3度の戦いで楽しませてもらった事に感謝してニコニコへ。

田中 雅昭・永家 将嗣・今井 俊治

10/30に地区大会ゴルフコンペに出場してきました。商品を頂きましたのでニコニコへ。

岩本 正樹

次男に女の子が誕生しました。待望の女の子です。メロメロになるそうです。

新宮 一郎

昨日は家内の誕生日にきれいな花をありがとうございました。

都竹 太志